



健やか豆知識

第18回

Q. **子どもが頭をぶつけたとき、
病院を受診したほうが
よいのは？**

- I **一瞬顔色が悪くなる**
- II **すぐに泣かなかった**
- III **何回も吐く**



タカちゃん

日頃から、ヘルメットや安全ベルトを正しく使い、 頭部外傷から子どもを守ろう！

乳幼児は頭が相対的に大きく、重心が身体の上方にあるので転びやすく、転んでも手で身体を支えられずに頭をぶつけがちです。実際、乳幼児の事故の中でも突出して転落事故(階段、ベビーカー、自転車のチャイルドシートから落ちる)が多く発生しています*。

子どもが頭をぶつけたときは、まず子どもの様子をしっかり観察してください。話しかけても反応がない、うとうと眠ってしまう、何回も吐く、顔色が悪い状態が続いている場合には病院を受診してください。けいれんを起こしたなど症状に応じて、救急車を呼んでいただいてもまったく構いません。一方、1回吐いただけで、その後はケロツとして遊んでいる、ぶつけたときや吐いたときに一瞬顔が悪くても、その後いつもの顔色に戻れば、しばらく様子を見ていてもよいでしょう。この「様子を見る時間」は、「6時間」が一つの目安とされています。

しかし、頭をぶつけると脳への影響がないか心配になるものです。不安であれば、一度は病院を受診し、次に同じことが起きたときには、どのように対応すればよいかを医師に相談して学んでいってほしいと思います。

乳幼児の転倒や転落による重大事故は、対策で防ぐことができます。たとえば子どもを自転車に乗せるときは、必ずヘルメットを着用させる、抱っこひもやベビーカーでは必ず安全ベルトをする、家の階段にはガードを付けるなど、事故防止のための道具を正確に使い、子どもを頭部外傷から守りましょう。

*東京消防庁平成30年「救急搬送データからみる日常生活事故の実態」より

監修 **萩原 佑亮** 東京都立小児総合医療センター
救命救急科

さらに詳しい情報は
ホームページで!



高田製薬は、患者さんや医療関係者の声に耳を傾け、医療ニーズに合った医薬品の開発と情報提供で、健康な社会づくりに貢献します。

— 人びとの健康を願って —
高田製薬株式会社

⇒さらに詳しい情報は「クイズ解説」をご覧ください